

武富節

本調子

工、六	四	老	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
				でい	ち	よ	ー					
								う				
												し
												ち

六	工、尺	中	四	老	四	中、尺	工	老	上	四	老	合
	り		てい			たい		ば	な		む	い
			あ									
												が

六	四	六	七、六	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
					は	な	や		ち				
													か

六	工、尺	中	四	老	四	中、尺	工	老	上	四	老	合
	み		てい			い	や	な		ら		
			む									
												ん

六	四	六	七、六	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
					へ	い	や	よ	ー				
													ひ

六	工、尺	中	四	工、六	四	老	四	合	尺
	や		る		が		ひ		

一、でいちやよ押連りてい

あたい花摘いが

花や露頂みてい 摘いやならん

(ハイヤ ヨウヌ ヒヤルガヒー)

二、白瀬走川に 流りゆる桜

すてい思里に 貫ちやい佩きら

三、赤糸貫花や 里に打ち佩きてい

白糸貫花や ゆ得り童

四、赤糸貫花や 打ち佩きていさらみ

里が目笑れ口 拝み欲しやぬ

五、花ん貫ち 貯みてい

でいちやよ立ち戻ら

里や我が宿に 待ちゆらでむぬ